

〔道路メンテナンス年報〕  
**宮城の道路メンテナンス概要**



**2025年3月**  
**宮城県道路メンテナンス会議**

## まえがき

宮城県内の国道や高速道路、県道（有料道路含む）、市町村道の道路延長は約 25,600 kmにおよび、その中には約 12,400 橋の橋梁、約 140 箇所トンネル、約 570 施設の道路附属物等があります。また、その道路構造物の多くが高度経済成長期に建設され、建設後 50 年を経過した道路施設の老朽化は急速に進行している状況です。

建設後 50 年を経過した橋梁は、2024 年 3 月末時点で約 3,000 橋、全体の 34%であり、20 年後には 80%の約 6,900 橋まで増加するため、老朽化対策の課題に早期に取り組むことが求められています。

このような状況の中、道路施設のメンテナンスサイクルの構築に向け 2014 年度から定期点検が義務化され、2023 年度までの 10 年間（1 巡目及び 2 巡目）で、各道路管理者により計画的に点検が実施されたところです。引き続き、3 巡目の点検を計画的に進めるとともに、点検結果を踏まえ個別施設ごとの長寿命化修繕計画を策定しながら補修・修繕等を進めていくこととしています。

「宮城県道路メンテナンス会議」は、県内の道路管理者が連携しながら道路インフラの予防保全や老朽化対策の体制強化を図るため 2014 年度に設立しました。これまでに道路施設の定期点検計画の策定や点検研修、修繕工事の現場見学会等を実施し、市町村への技術支援に取り組んできたところです。今後も引き続き、老朽化対策の着実な推進に向け新技術を活用するなど、点検結果を踏まえた補修・修繕等を継続的に実施していきます。

「宮城の道路メンテナンス概要」は、宮城県道路メンテナンス会議の取り組みの一環として、県内の道路施設の老朽化の実態やメンテナンスの取り組みについてとりまとめ、県民や道路利用者に情報発信するとともに、今後の措置方針立案に繋げていくものです。

宮城県道路メンテナンス会議 会長  
(仙台河川国道事務所長) 田中 誠柳

# 目 次

1 道路構造物の現状 .....	1
(1) 道路構造物の管理者 .....	1
(2) 道路構造物の急速な老朽化 .....	1
2 宮城の道路メンテナンス概要について .....	2
(1) 概要 .....	2
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について .....	2
3 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果 .....	3
(1) 2 巡目（2019～2023 年度）の点検結果（全道路管理者） .....	3
(2) 2 巡目（2019～2023 年度）の点検結果（管理者別） .....	5
(3) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の 5 年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況 .....	11
(4) 過年度の点検（2014～2023 年度）の実施施設の判定区分ごとの施設数と割合 .....	14
(5) 過年度の点検（2014～2023 年度）の点検結果（全道路管理者） .....	17
(6) 過年度の点検（2014～2023 年度）の点検結果（管理者別） .....	18
4 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況 .....	20
(1) 1 巡目点検（2014～2018 年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況 .....	20
(2) 2 巡目点検（2019～2023 年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況 .....	24
(3) 過年度の点検（2014～2023 年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況 .....	27
(4) 判定区分Ⅳの施設の措置状況 .....	30
(5) 修繕等措置の取り組み事例 .....	31
5 道路メンテナンス会議の取り組み .....	35

# 1 道路構造物の現状

## (1) 道路構造物の管理者

県内の道路には、橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物があります。このうち、特に施設数が多い橋梁では、約7割を市町村で管理しています。

表1-1 道路管理者別の道路構造物等内訳

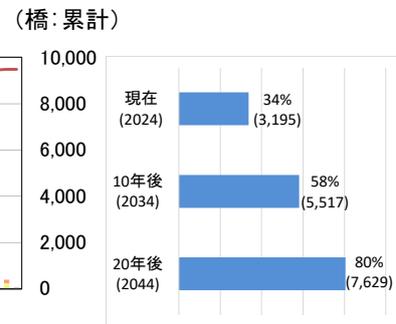
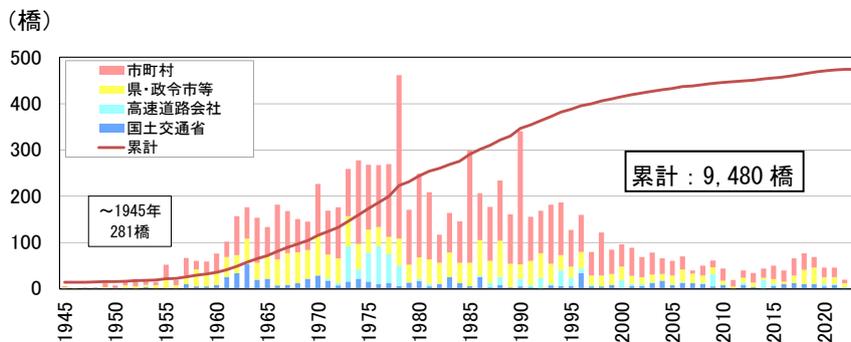
管理者	道路延長 (km)	橋梁 (橋)	トンネル (箇所)	道路附属物等 (施設)				
				シェッド	大型カルバート	横断歩道橋	門型標識等	
国土交通省	600	791	31	223	7	103	50	63
高速道路会社	179	612	4	174	0	106	0	68
県・政令市等	2,994	2,673	75	151	22	38	65	26
市町村	21,852	8,304	34	21	3	6	11	1
合計	25,626	12,380	144	569	32	253	126	158

※2024年3月末時点  
 ※道路延長は「道路統計年報2023」より集計

## (2) 道路構造物の急速な老朽化

橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物は、その多くが高度経済成長期に建設され、今後、これらの道路構造物の老朽化が急速に進む見込みです。

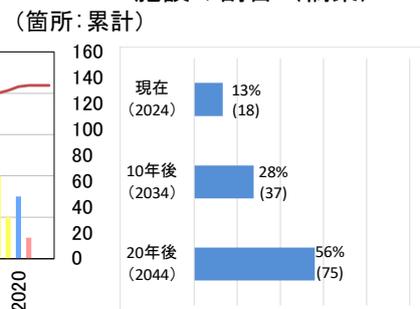
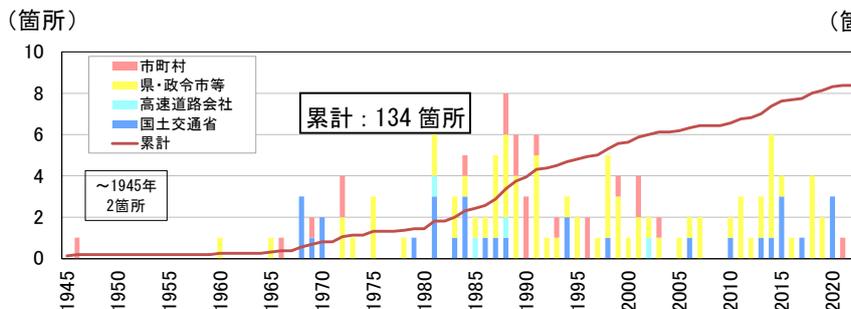
特に施設数の多い橋梁でみると、建設後50年を経過した橋梁は、現在34%に対し、10年後には58%に増加するため、計画的・効率的なメンテナンスサイクルの構築が必要な状況です。



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約2,900橋ある。  
 (出典) 道路局調べ (2024.3 末時点)

図1-1 建設年代別施設数 (橋梁)

図1-2 建設後50年を経過した施設の割合 (橋梁)



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが10箇所ある。  
 (出典) 道路局調べ (2024.3 末時点)

図1-3 建設年代別施設数 (トンネル)

図1-4 建設後50年を経過した施設の割合 (トンネル)

## 2 宮城の道路メンテナンス概要について

### (1) 概要

- 宮城県道路メンテナンス会議では、県民・道路利用者に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「宮城の道路メンテナンス概要」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等※については、2014～2018年度における1巡目点検（以降、1巡目点検）が完了し、2019年度より2巡目の点検に着手しています。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
  - 2巡目（2019～2023年度）及び過年度（2014～2023年度）の点検結果※<sup>2</sup>
  - 1巡目点検（2014～2018年度）、2巡目点検（2019～2023年度）、過年度の点検（2014～2023年度）における修繕等措置状況
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。  
 →地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から県内の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。  
 →各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくことになります。

※1 道路附属物等：シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等  
 ※2 複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計  
 ※3 本概要に掲載している施設数は、施設を管理する事務所等の所在地（県）で集計しています。

### (2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013年の道路法改正等を受け、2014年7月より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。



写真2-1 橋梁点検状況



写真2-2 トンネル点検状況

### 3 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

#### (1) 2巡目(2019~2023年度)の点検結果(全道路管理者)

2巡目(2019~2023年度)の累積点検実施率は、橋梁 100%、トンネル 98%、道路附属物等 100%です。

判定区分の割合は、橋梁：I 17%、II 73%、III 10%、IV 0.05%、トンネル：I 4%、II 49%、III 47%、IV 0%、道路附属物等：I 31%、II 51%、III 18%、IV 0%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。(次頁以降も同様)

#### 〇2巡目(2019~2023年度)の点検実施率(全道路管理者)

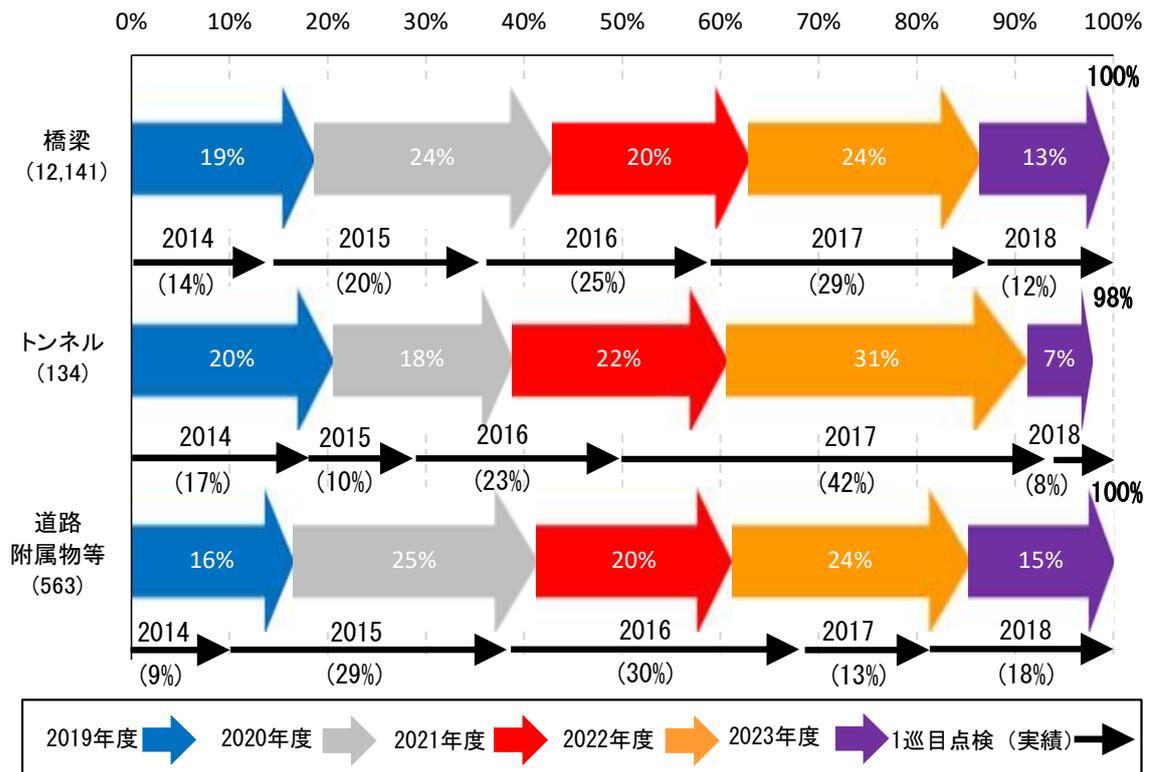


図3-1 2巡目(2019~2023年度)の点検実施率(全道路管理者合計)

※( )内は、2019~2023年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-1 (2019~2023年度)の点検実施率(全道路管理者)

	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	12,380	12,189	12,141	99.61% (100.00%)
トンネル	144	137	134	97.81% (100.00%)
道路附属物等	569	563	563	100.00% (99.59%)

※1：2024年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2024.3末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。( )内は、1巡目(2014~2018年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

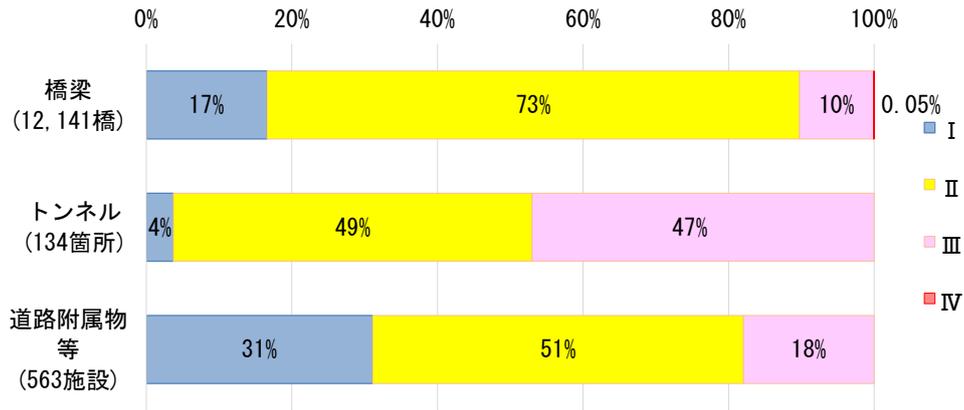


図3-2 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（全道路管理者合計）

※（）内は、2巡目（2019～2023年度）に点検を実施した施設数の合計。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-2 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（全道路管理者）

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	12,141	2,010	8,885	1,240	6
		17%	73%	10%	0.05%
トンネル	134	5	66	63	0
		4%	49%	47%	0%
道路附属物等	563	175	287	101	0
		31%	51%	18%	0%

2024.3 末時点

【参考】1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（全道路管理者合計）

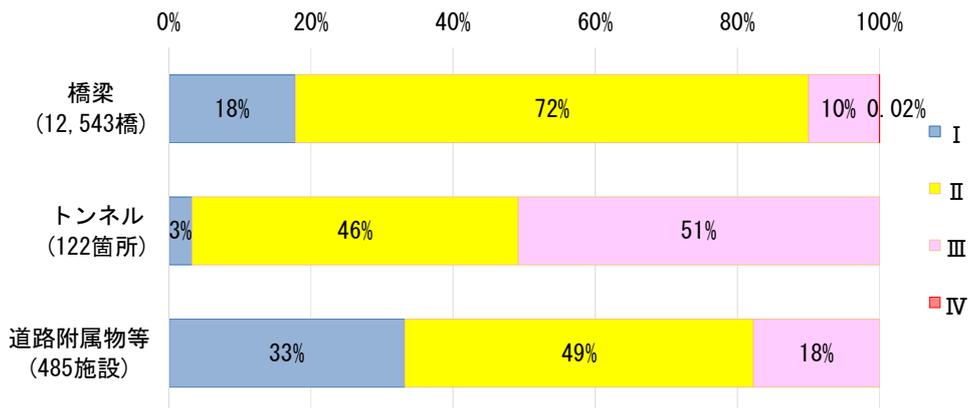


図3-3 1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（全道路管理者合計）

※2019年3月時点での集計値  
 ※（）内は、1巡目（2014～2018年度）に点検を実施した施設数の合計。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

## (2) 2巡目（2019～2023年度）の点検結果（管理者別）

### ① 橋梁

橋梁の2巡目（2019～2023年度）の累積点検実施率は、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、県・政令市等 100%、市町村 99%です。

全管理者の判定区割合は、Ⅰ 17%、Ⅱ 73%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.05%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

### ○2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（橋梁）

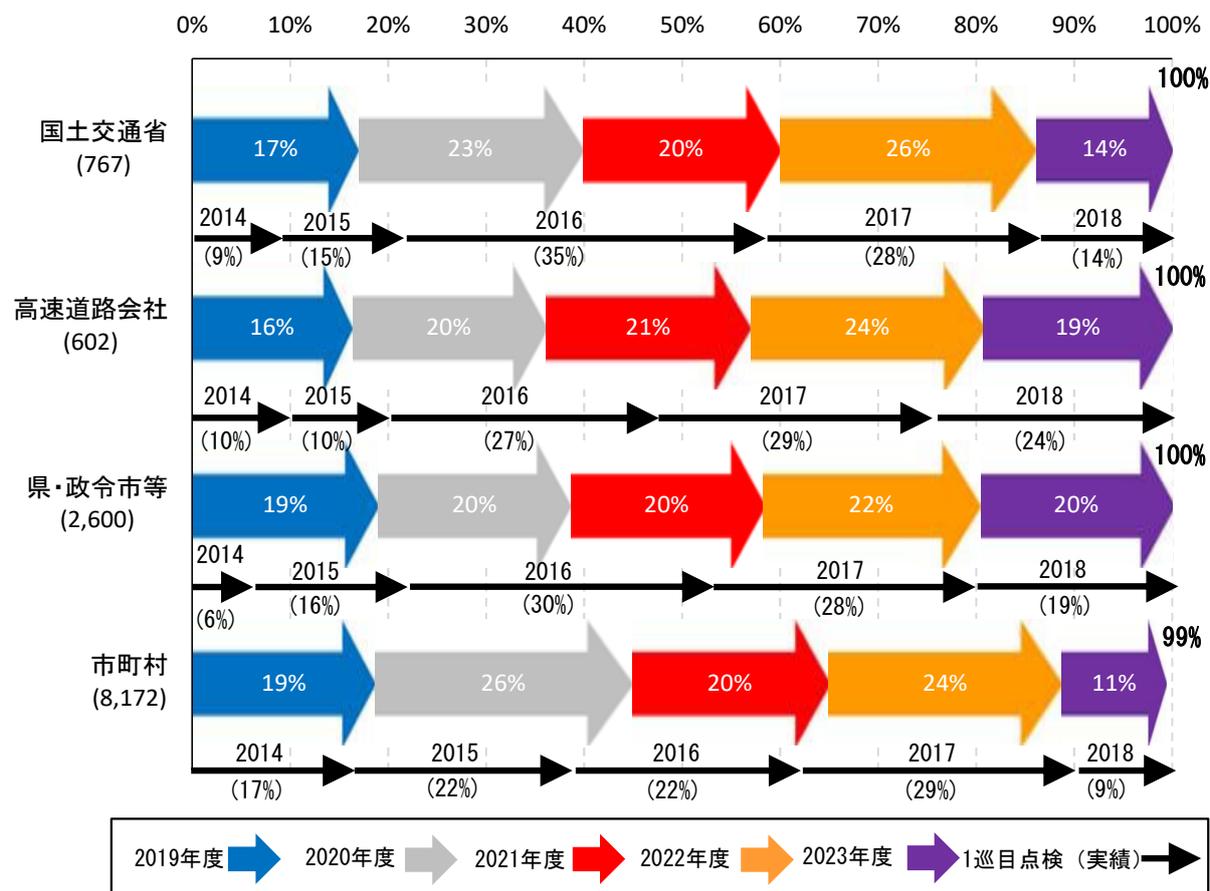


図3-4 2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（橋梁）

※（）内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-3 2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（橋梁）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	791	767	767	100.00% (100.00%)
高速道路会社	612	602	602	100.00% (100.00%)
県・政令市等	2,673	2,600	2,600	100.00% (100.00%)
市町村	8,304	8,220	8,172	99.42% (100.00%)
合計	12,380	12,189	12,141	99.61% (100.00%)

※1：2024年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2024.3末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。（）内は、1巡目（2014～2018年度）における点検実施率。



図3-5 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（橋梁）

※（）内は、2巡目（2019～2023年度）に点検を実施した施設数の合計。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-4 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（橋梁）

管理者	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	767	267	406	94	0
		35%	53%	12%	0%
高速道路会社	602	109	429	64	0
		18%	71%	11%	0%
県・政令市等	2,600	488	1,602	508	2
		19%	62%	20%	0.1%
市町村	8,172	1,146	6,448	574	4
		14%	79%	7%	0.05%
合計	12,141	2,010	8,885	1,240	6
		17%	73%	10%	0.05%

2024.3末時点

【参考】1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（橋梁）

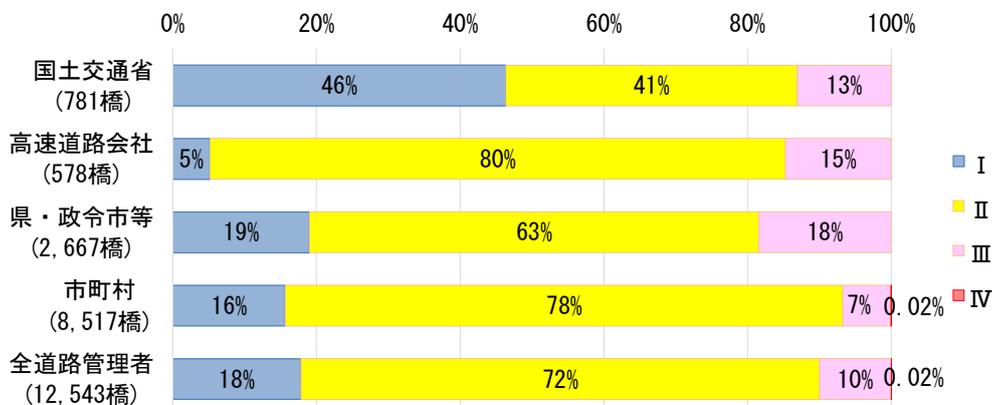


図3-6 1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（橋梁）

※2019年3月時点での集計値  
 ※（）内は、1巡目（2014～2018年度）に点検を実施した施設数の合計。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

②トンネル

トンネルの2巡目（2019～2023年度）の累積点検実施率は、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、県・政令市等 100%、市町村 91%です。

全管理者の判定区分割合は、Ⅰ 4%、Ⅱ 49%、Ⅲ 47%、Ⅳ 0%です。

〇2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（トンネル）

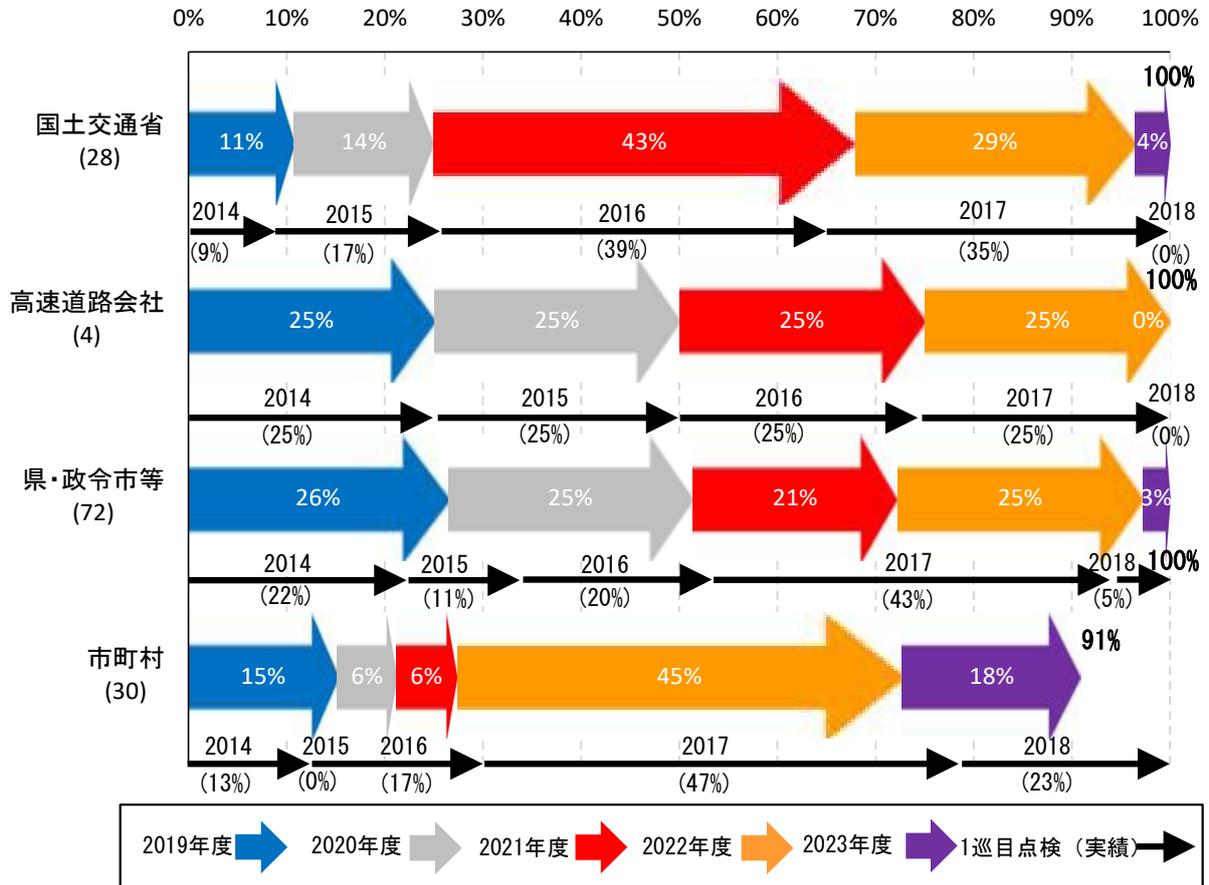


図3-7 2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（トンネル）

※（）内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。  
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-5 （2019～2023年度）の点検実施率（トンネル）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	31	28	28	100.00% (100.00%)
高速道路会社	4	4	4	100.00% (100.00%)
県・政令市等	75	72	72	100.00% (100.00%)
市町村	34	33	30	90.91% (100.00%)
合計	144	137	134	97.81% (100.00%)

※1：2024年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。（）内は、1巡目（2014～2018年度）における点検実施率。

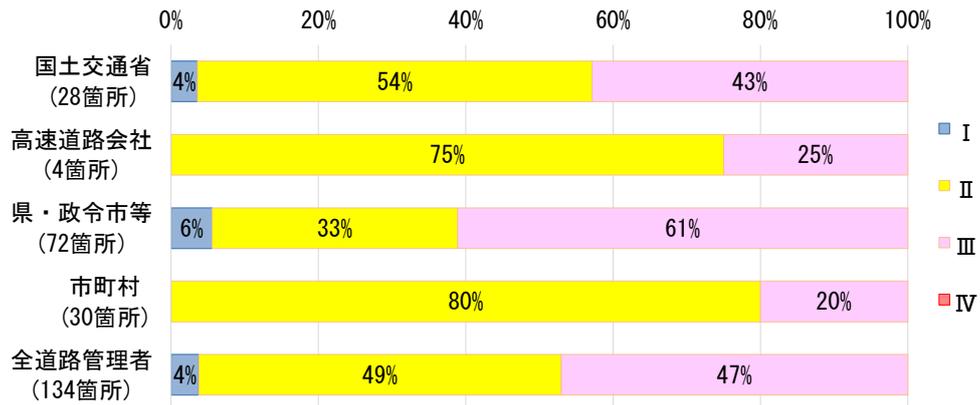


図 3-8 2 巡目 (2019~2023 年度) の判定区分の割合 (トンネル)

※ ( ) 内は、2019~2023 年度に点検を実施した施設数の合計。  
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表 3-6 2 巡目 (2019~2023 年度) の判定区分の割合 (トンネル)

管理者	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	28	1	15	12	0
		4%	54%	43%	0%
高速道路会社	4	0	3	1	0
		0%	75%	25%	0%
県・政令市等	72	4	24	44	0
		6%	33%	61%	0%
市町村	30	0	24	6	0
		0%	80%	20%	0%
合計	134	5	66	63	0
		4%	49%	47%	0%

【参考】1 巡目 (2014~2018 年度) の判定区分の割合 (トンネル)

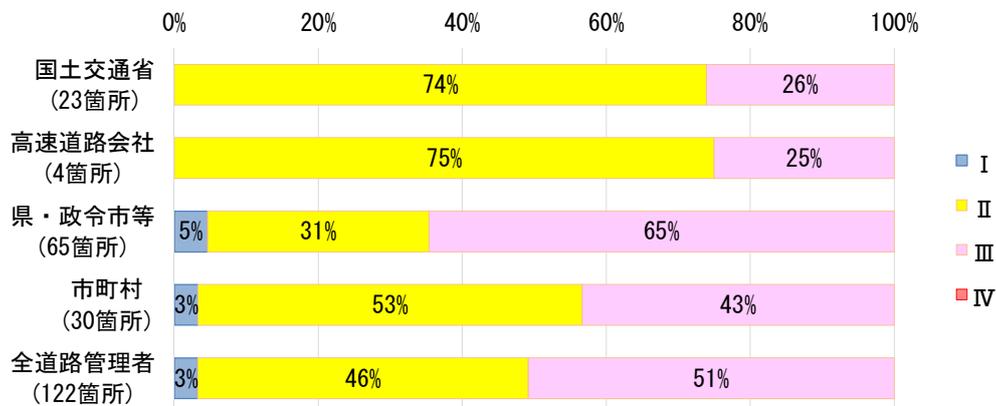


図 3-9 1 巡目 (2014~2018 年度) の判定区分の割合 (トンネル)

※2019 年 3 月時点での集計値  
 ※ ( ) 内は、1 巡目 (2014~2018 年度) に点検を実施した施設数の合計。  
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

### ③道路附属物等

道路附属物等の2巡目(2019~2023年度)の累積点検実施率は、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、県・政令市等 100%、市町村 100%です。

全管理者の判定区分割合は、I 31%、II 51%、III 18%、IV 0%です。

○2巡目(2019~2023年度)の点検実施率(道路附属物等)

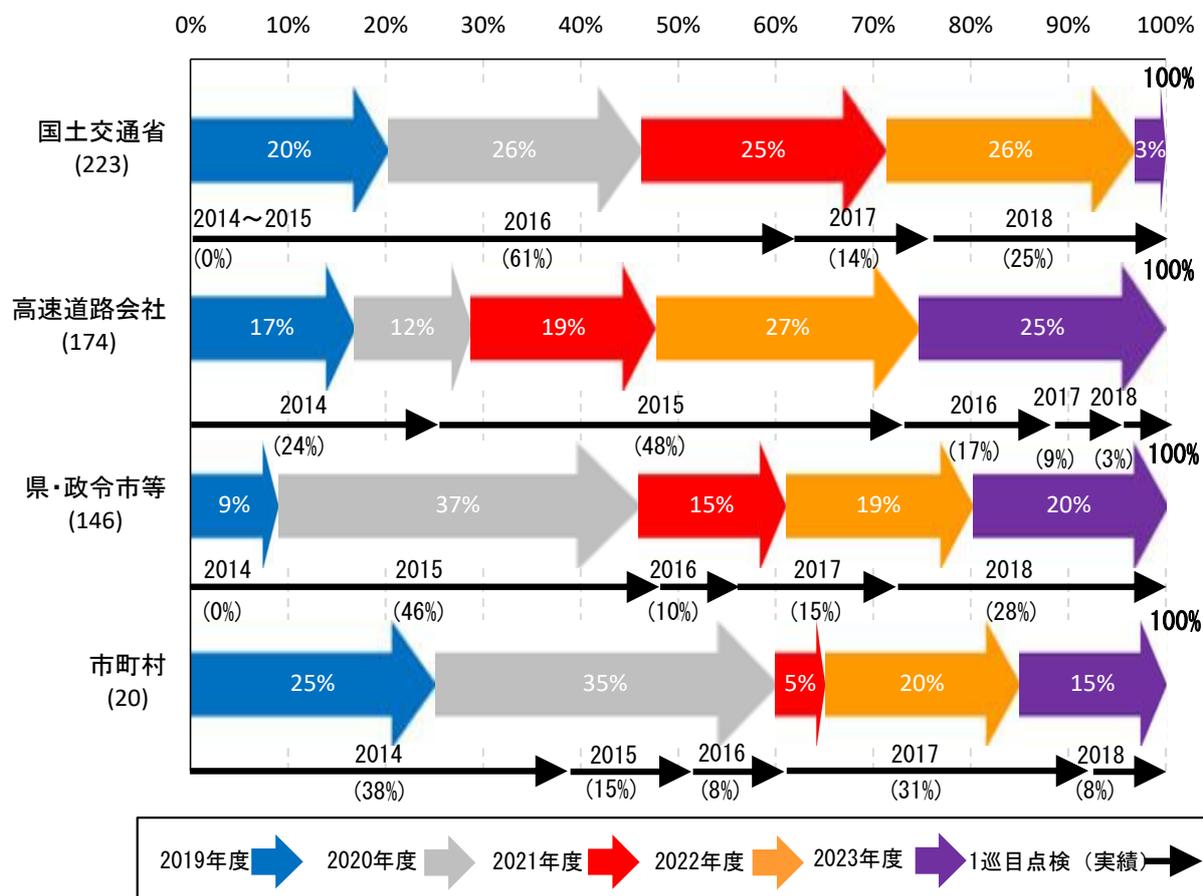


図 3 - 1 0 2巡目(2019~2023年度)の点検実施率(道路附属物等)

※ ( ) 内は、2019~2023年度に点検を実施した施設数の合計。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表 3 - 7 (2019~2023年度)の点検実施率(道路附属物等)

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	223	223	223	100.00% (100.00%)
高速道路会社	174	174	174	100.00% (100.00%)
県・政令市等	151	146	146	100.00% (98.52%)
市町村	21	20	20	100.00% (100.00%)
合計	569	563	563	100.00% (99.59%)

※1: 2024年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。  
 ※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。( )内は、1巡目(2014~2017年度)における点検実施率。

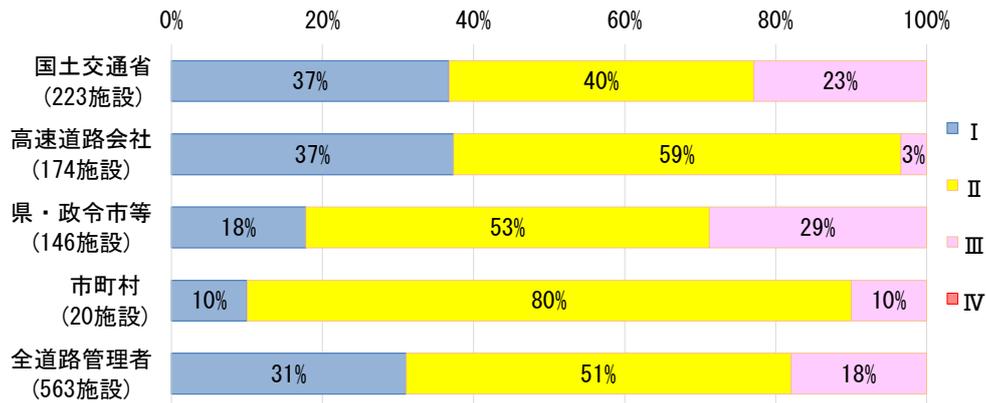


図3-1-1 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

※（）内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-8 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

管理者	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
国土交通省	223	82	90	51	0
		37%	40%	23%	0%
高速道路会社	174	65	103	6	0
		37%	59%	3%	0%
県・政令市等	146	26	78	42	0
		18%	53%	29%	0%
市町村	20	2	16	2	0
		10%	80%	10%	0%
合計	563	175	287	101	0
		31%	51%	18%	0%

2024.3 末時点

【参考】1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

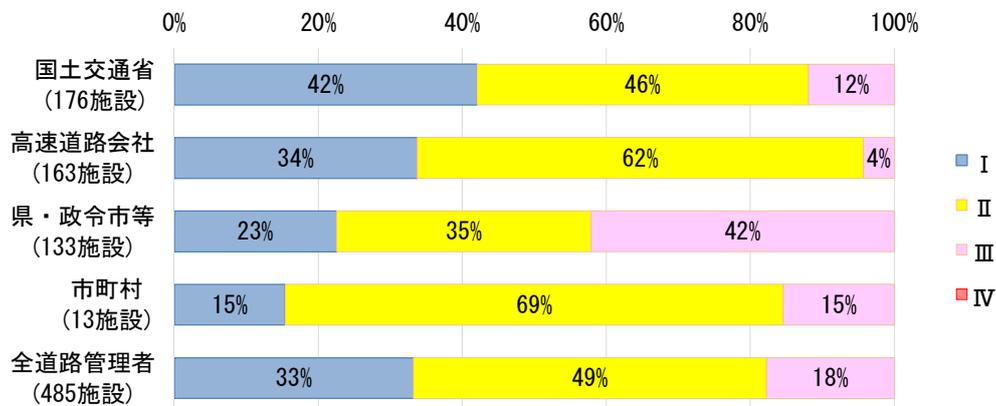


図3-1-2 1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

※2019年3月時点での集計値  
 ※（）内は、1巡目（2014～2018年度）に点検を実施した施設数の合計。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

### (3) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況

#### ① 橋梁

1巡目の2014～2018年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019～2023年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で6%です。

橋梁では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。

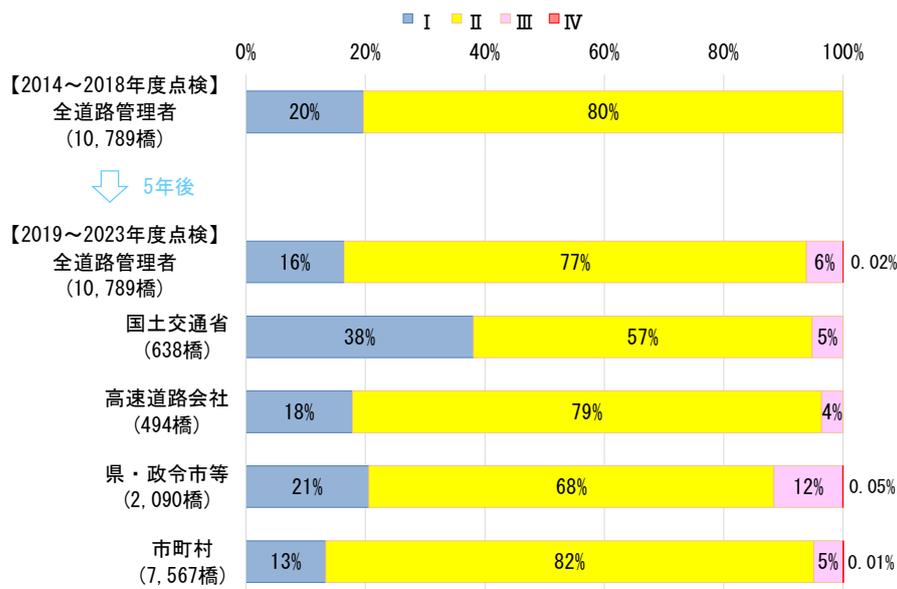


図3-13 管理者別の判定区分の遷移状況

※（）内は、1巡目（2014～2018年度）の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁数の内、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019～2023年度に点検を実施した橋梁の合計。  
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

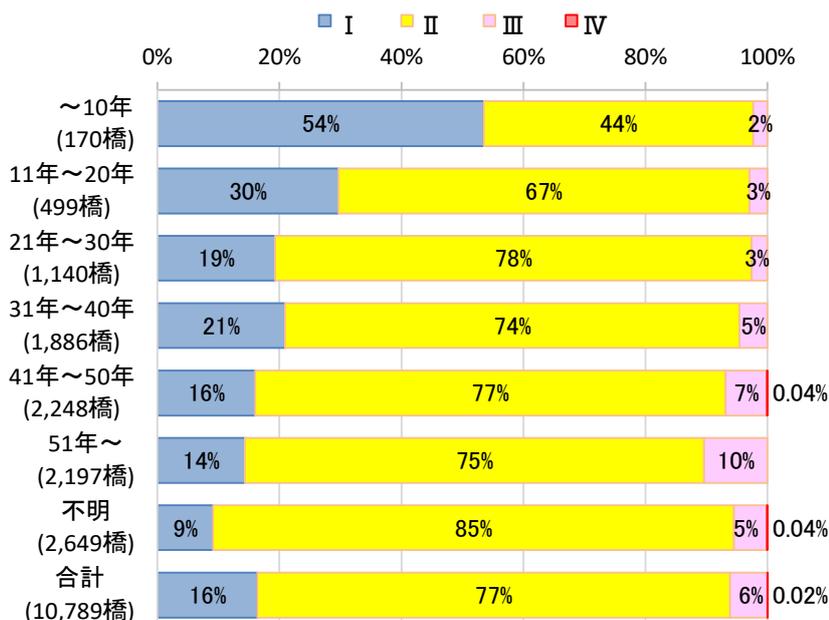


図3-14 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

## ②トンネル

1 巡目の2014～2018年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019～2023年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で39%です。

トンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。

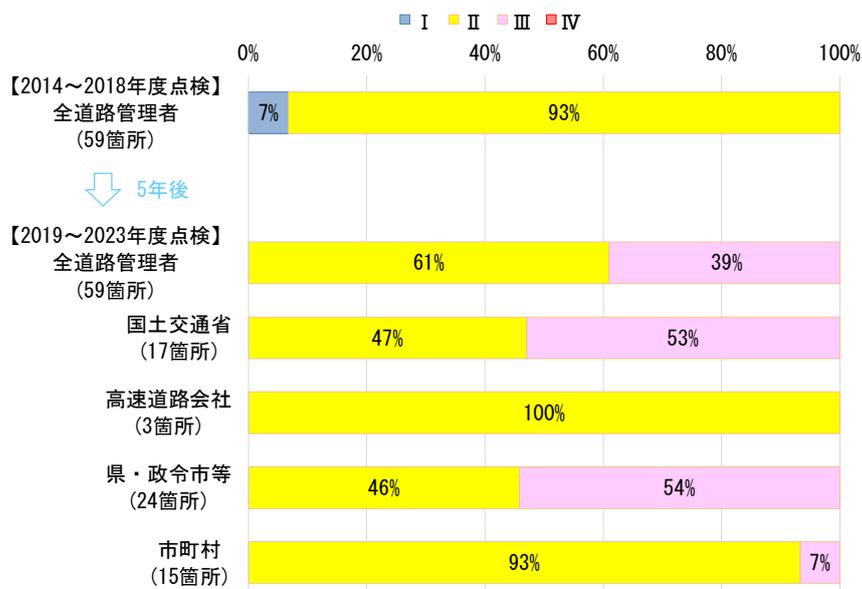


図3-15 管理者別の判定区分の遷移状況

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

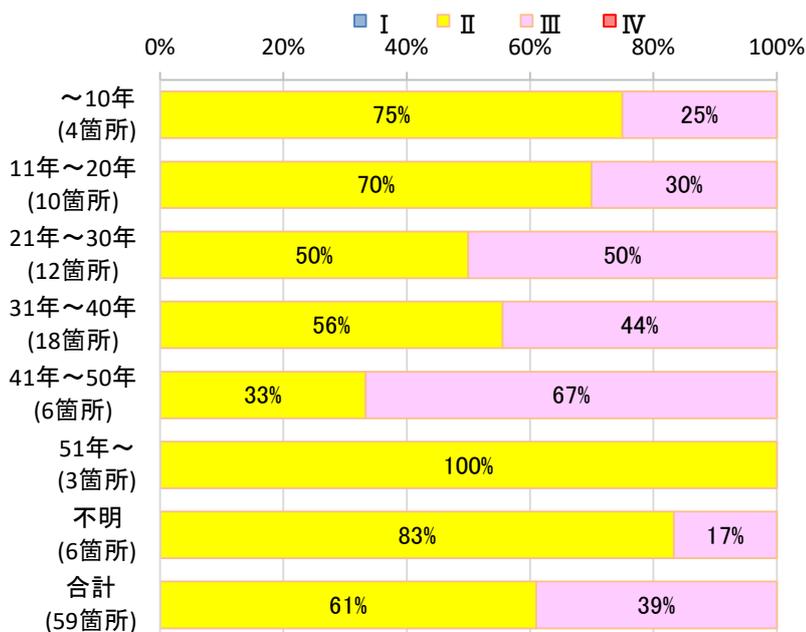


図3-16 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

### ③道路附属物等

1巡目の2014～2018年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019～2023年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で12%です。

建設後経過年数が21年以上となる道路附属物等では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

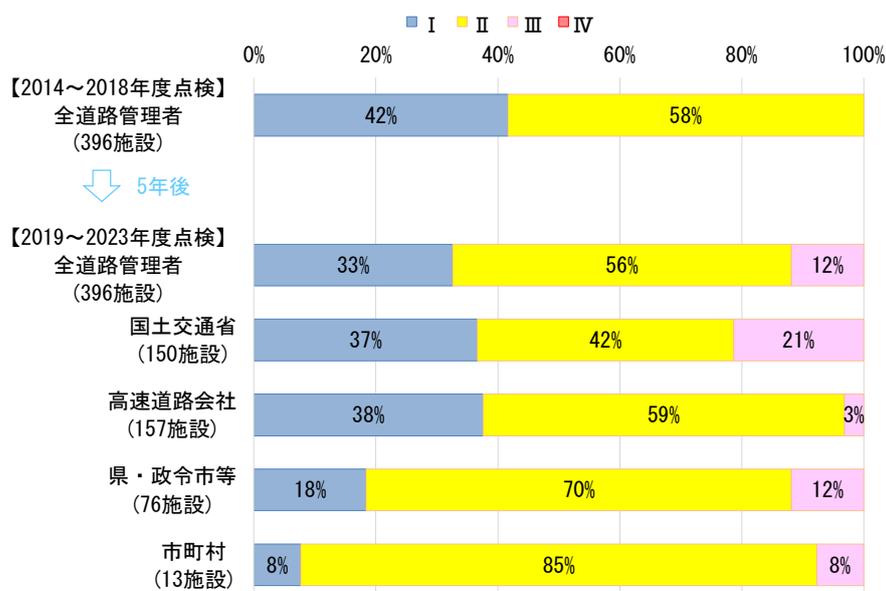


図3-17 管理者別の判定区分の遷移状況

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

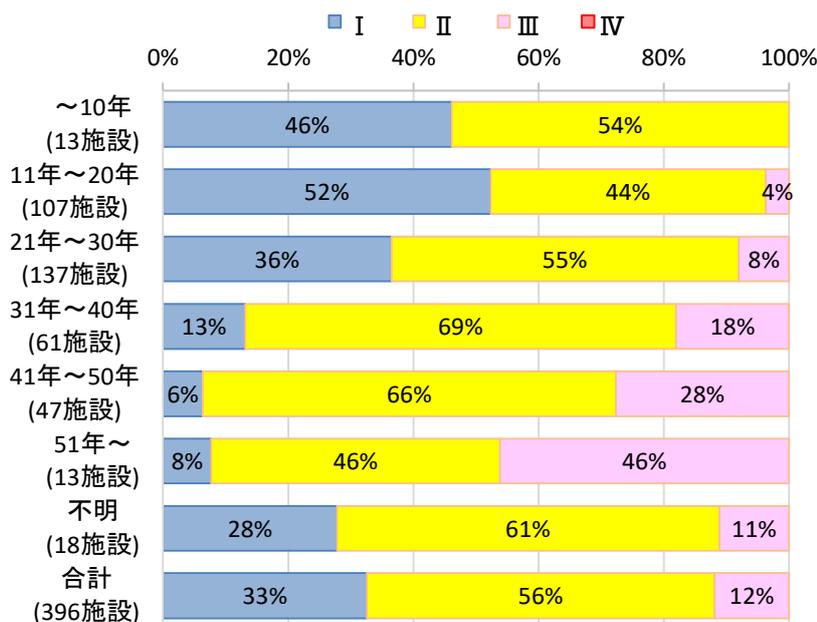


図3-18 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

(4) 過年度の点検（2014～2023 年度）の実施施設の判定区分ごとの施設数と割合

① 橋梁

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、I 16%、II 73%、III 10%、IV 0.05%であり、修繕等が必要な判定区分III・IVの橋梁は1,246 橋です。1 巡目点検結果から推移をみると、判定区分IIIの施設数が増加しています。

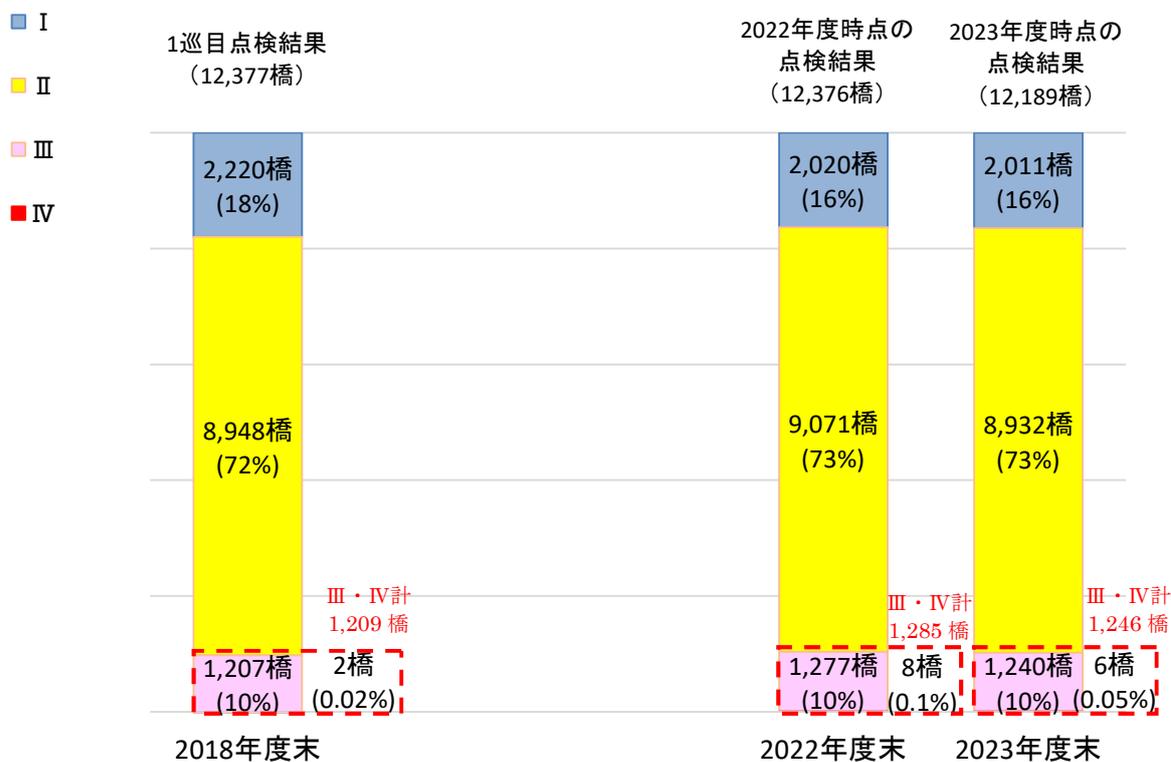


図3-19 各年度時点の判定区分の割合（橋梁）

※四捨五入の関係で合計値が100にならない場合がある。  
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

## ②トンネル

過年度の点検（2014～2023年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 4%、Ⅱ 50%、Ⅲ 47%、Ⅳ 0%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは64箇所です。

1巡目点検結果から推移をみると、判定区分Ⅲの施設数が増加しています。

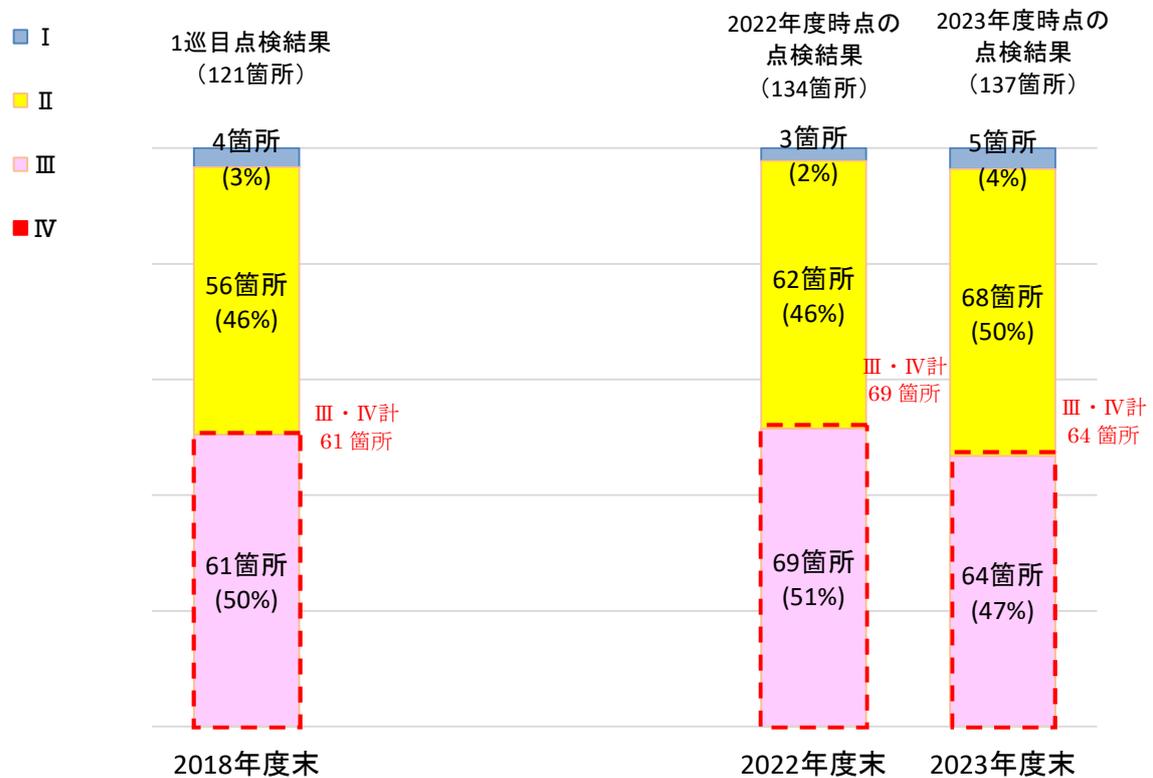


図3-20 各年度時点の判定区分の割合（トンネル）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

### ③道路附属物等

過年度の点検（2014～2023年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 31%、Ⅱ 51%、Ⅲ 18%、Ⅳ 0%であり修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等は 101 施設です。

1 巡目点検結果から推移をみると、判定区分Ⅲの施設数が増加しています。

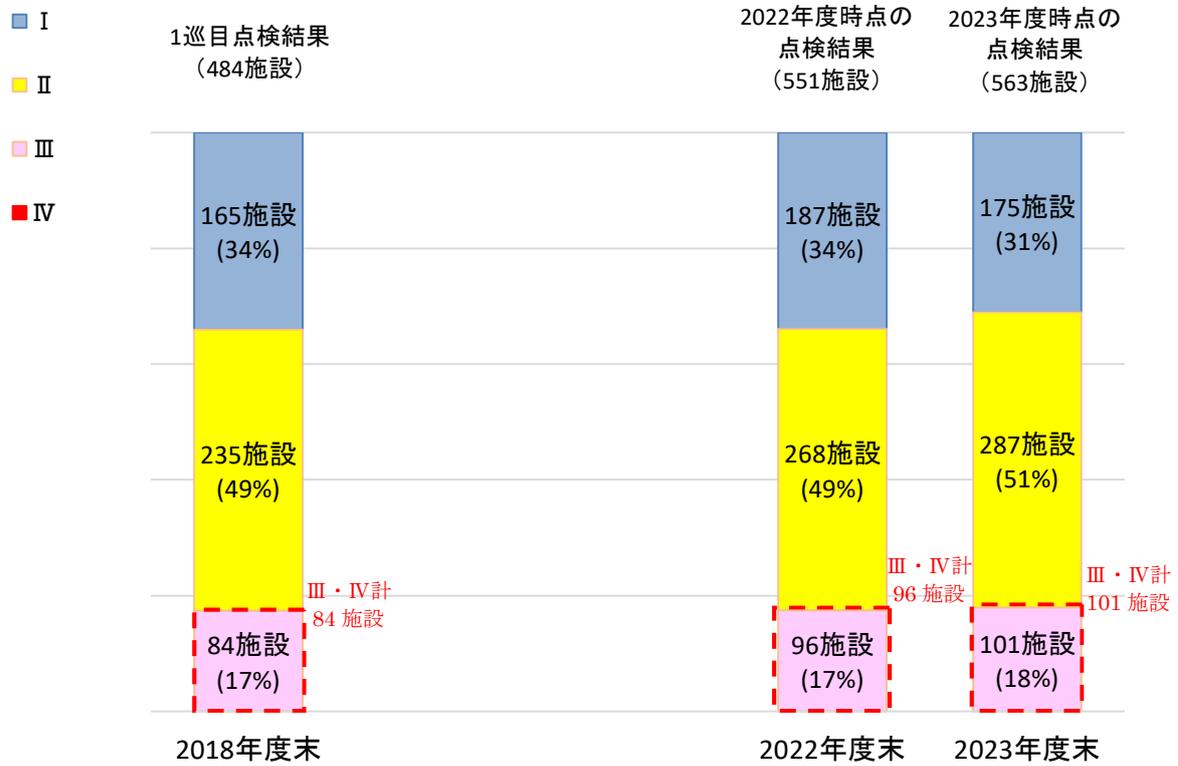


図3-21 各年度時点の判定区分の割合（道路附属物等）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(5) 過年度の点検（2014～2023 年度）の点検結果（全道路管理者）

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 16%、Ⅱ 73%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.05%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 50%、Ⅲ 47%、Ⅳ 0%、道路附属物等：Ⅰ 31%、Ⅱ 51%、Ⅲ 18%、Ⅳ 0%です。

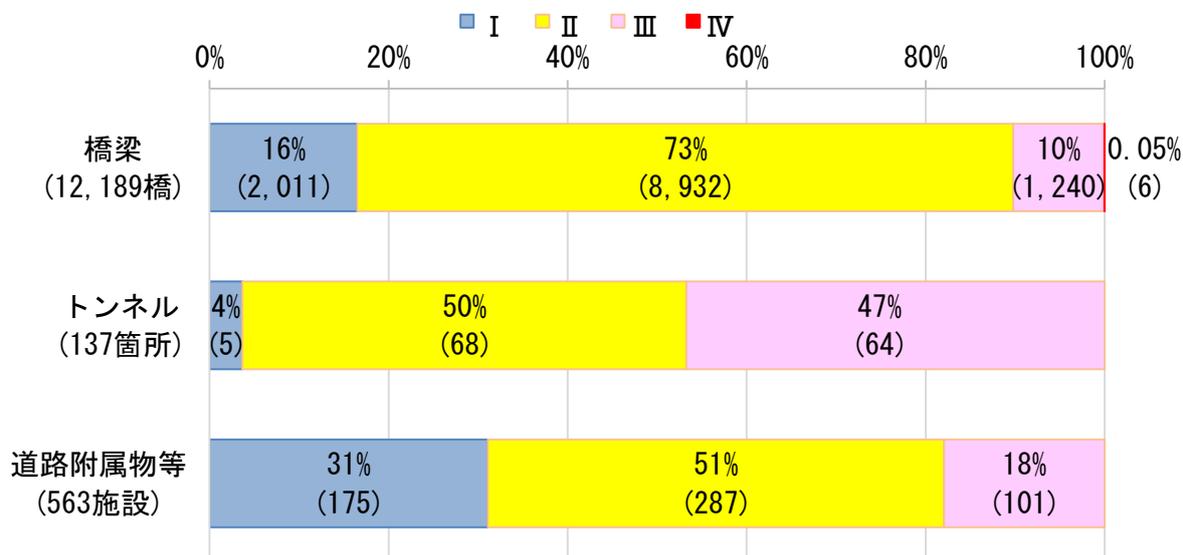


図3-22 2023年度末時点の判定区分の割合（全道路管理者）

※（）内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

## (6) 過年度の点検（2014～2023 年度）の点検結果（管理者別）

### 1) 国土交通省

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 35%、Ⅱ 53%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 54%、Ⅲ 43%、Ⅳ 0%、道路附属物等：Ⅰ 37%、Ⅱ 40%、Ⅲ 23%、Ⅳ 0%です。

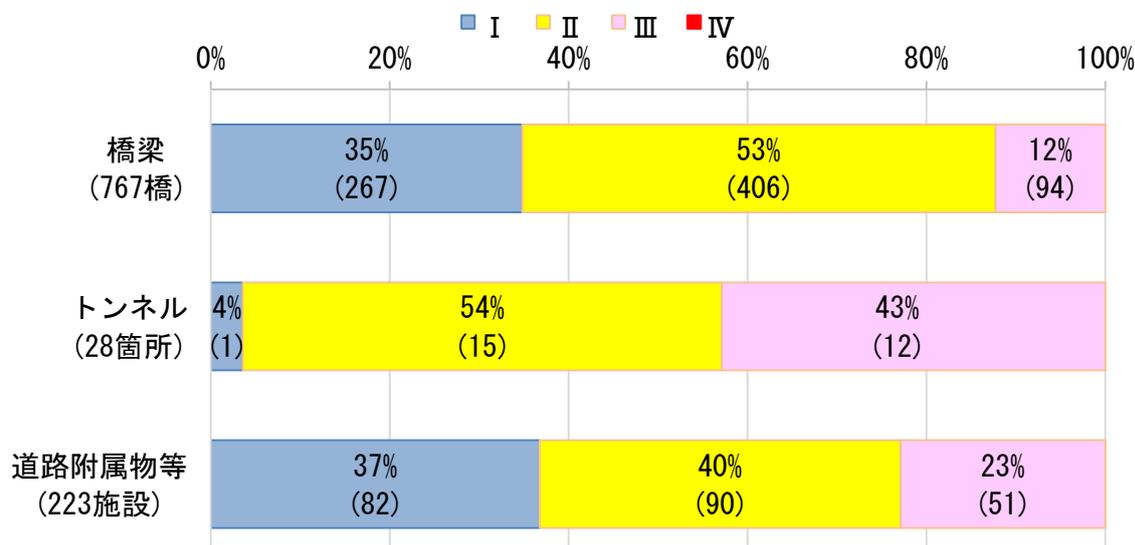


図3-23 2023年度末時点の判定区分の割合（国土交通省）

※（）内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。  
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

### 2) 高速道路会社

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 18%、Ⅱ 71%、Ⅲ 11%、Ⅳ 0%、トンネル：Ⅰ 0%、Ⅱ 75%、Ⅲ 25%、Ⅳ 0%、道路附属物等：Ⅰ 37%、Ⅱ 59%、Ⅲ 3%、Ⅳ 0%です。

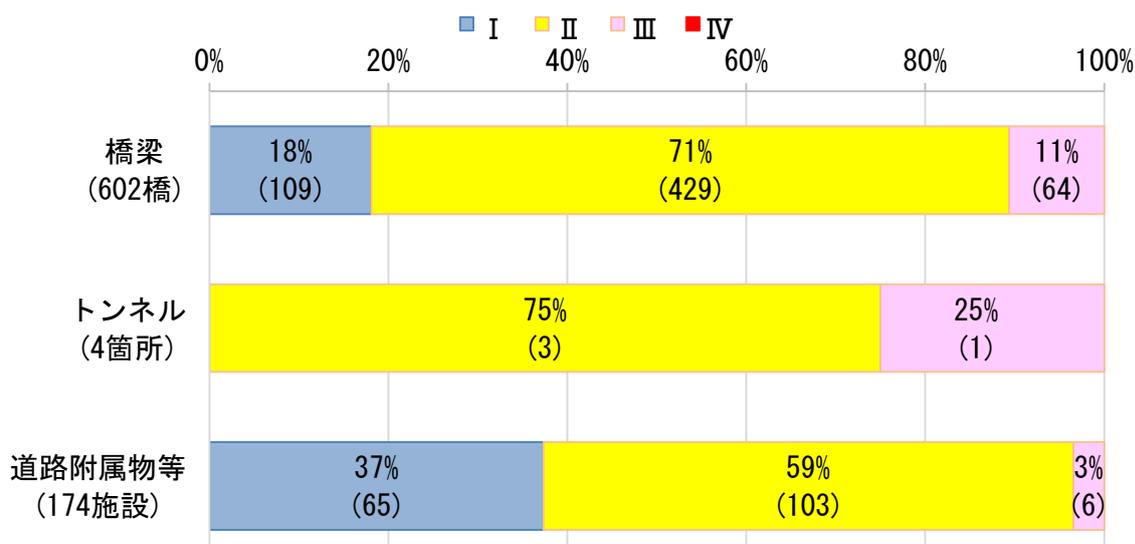


図3-24 2023年度末時点の判定区分の割合（高速道路会社）

※（）内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。  
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

### 3) 県・政令市等

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 19%、Ⅱ 62%、Ⅲ 20%、Ⅳ 0.08%、トンネル：Ⅰ 6%、Ⅱ 33%、Ⅲ 61%、Ⅳ 0%、道路附属物等：Ⅰ 18%、Ⅱ 53%、Ⅲ 29%、Ⅳ 0%です。

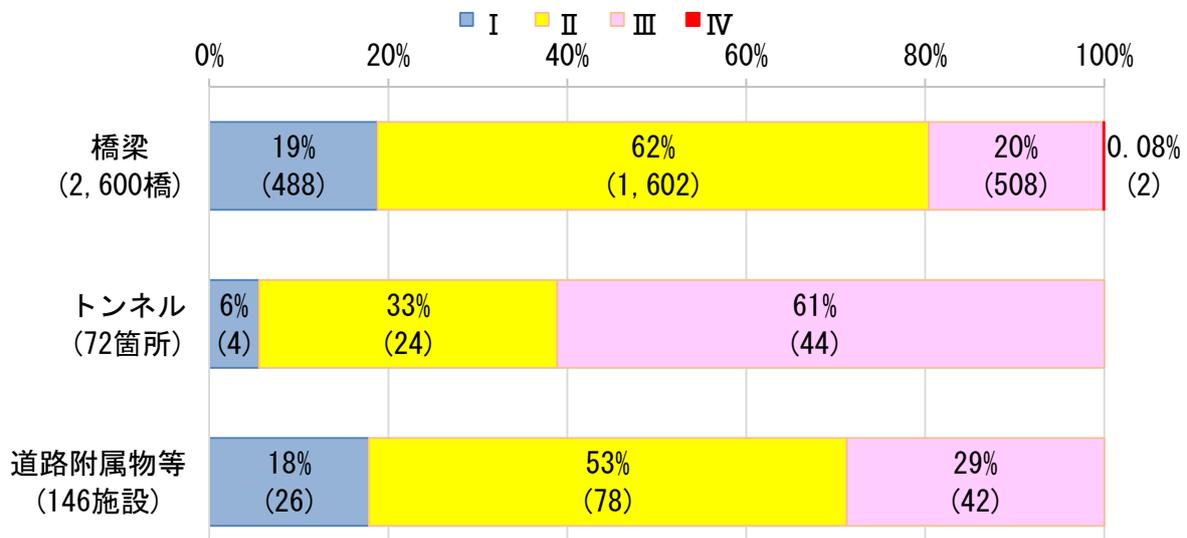


図3-25 2023年度末時点の判定区分の割合（県・政令市等）

※（）内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。  
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

### 4) 市町村

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 14%、Ⅱ 79%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.05%、トンネル：Ⅰ 0%、Ⅱ 79%、Ⅲ 21%、Ⅳ 0%、道路附属物等：Ⅰ 10%、Ⅱ 80%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0%です。

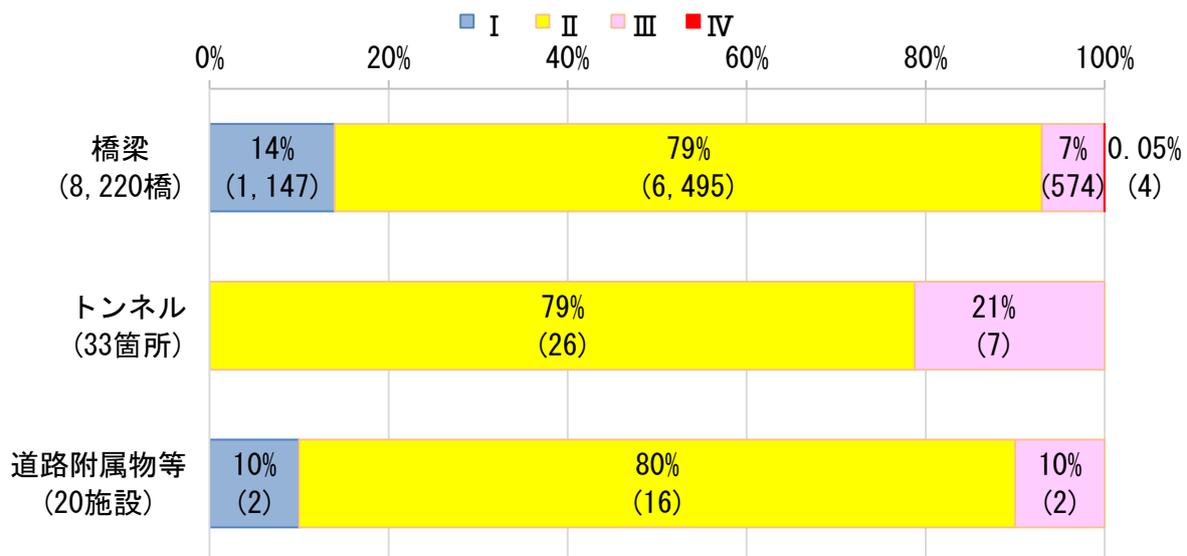


図3-26 2023年度末時点の判定区分の割合（市町村）

※（）内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。  
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。  
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

#### 4 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

##### (1) 1巡目点検（2014～2018年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況

各施設の修繕等措置については、定期点検の判定区分に応じて対策等を行います。

##### ○判定区分Ⅲ

「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、次回点検まで（5年以内）に措置を講ずることとしています。

##### ○判定区分Ⅳ

「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、損傷発見後、緊急に措置を講ずることとしています。

##### 1) 判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況（2023年度末時点）

1巡目点検（2014～2018年度）で判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された施設の措置着手率（2023年度末時点）は、橋梁 92%、トンネル 100%、道路附属物等 99%となっています。

表4-1 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置の実施状況（全道路管理者）

	措置が必要な 施設数 A	措置に着手済 の施設数 B (B/A)	措置完了済 の施設数 C (C/A)
橋梁	1,144	1,056 (92%)	768 (67%)
トンネル	59	59 (100%)	52 (88%)
道路附属物等	85	84 (99%)	62 (73%)

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置  
(2014～2018)

2024.3末時点

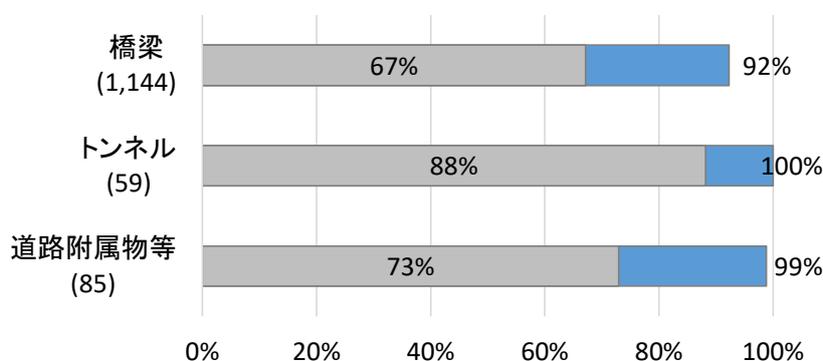


図4-1 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置(2014年度～2018年度)

2024.3末時点

**措置着手率** : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)  
**措置完了率** : 措置が完了した割合(C/A)

①橋梁

1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 91%です。

完了した割合は、国土交通省 69%、高速道路会社 58%、地方公共団体 68%です。

表 4-2 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	93	93 (100%)	64 (69%)	2014	93%	100%	93%	100%
				2015	85%	100%	85%	100%
				2016	74%	100%	74%	100%
				2017	48%	100%	48%	100%
				2018	43%	100%	43%	100%
高速道路会社	85	85 (100%)	49 (58%)	2014	100%	100%	100%	100%
				2015	100%	100%	100%	100%
				2016	63%	100%	63%	100%
				2017	57%	100%	57%	100%
				2018	35%	100%	35%	100%
地方公共団体計	966	878 (91%)	655 (68%)	2014	88%	99%	88%	99%
				2015	69%	89%	69%	89%
				2016	70%	95%	70%	95%
				2017	48%	79%	48%	79%
				2018	61%	90%	61%	90%
県・政令市等	453	416 (92%)	275 (61%)	2014	75%	100%	75%	100%
				2015	72%	100%	72%	100%
				2016	64%	95%	64%	95%
				2017	50%	85%	50%	85%
				2018	61%	89%	61%	89%
市町村	513	462 (90%)	380 (74%)	2014	89%	99%	89%	99%
				2015	66%	81%	66%	81%
				2016	80%	94%	80%	94%
				2017	44%	69%	44%	69%
				2018	62%	91%	62%	91%
合計	1,144	1,056 (92%)	768 (67%)		67%	92%	67%	92%

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A) 2024.3 末時点  
 措置完了率 : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1 : 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2 : 2 巡目点検で再度Ⅲ、Ⅳと診断された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

## ②トンネル

1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 100%です。

完了した割合は、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 87%です。

表 4-3 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	6	6 (100%)	6 (100%)	2014	100%	100%	100%	100%
				2015	100%	100%	100%	100%
				2016	100%	100%	100%	100%
				2017	—	—	—	—
				2018	—	—	—	—
高速道路会社	1	1 (100%)	1 (100%)	2014	—	—	—	—
				2015	—	—	—	—
				2016	—	—	—	—
				2017	100%	100%	100%	100%
				2018	—	—	—	—
地方公共団体計	52	52 (100%)	45 (87%)	2014	80%	100%	100%	100%
				2015	50%	100%	100%	100%
				2016	75%	100%	100%	100%
				2017	96%	100%	100%	100%
				2018	100%	100%	100%	100%
県・政令市等	39	39 (100%)	35 (90%)	2014	100%	100%	100%	100%
				2015	50%	100%	100%	100%
				2016	78%	100%	100%	100%
				2017	100%	100%	100%	100%
				2018	100%	100%	100%	100%
市町村	13	13 (100%)	10 (77%)	2014	0%	100%	100%	100%
				2015	—	—	—	—
				2016	67%	100%	100%	100%
				2017	88%	100%	100%	100%
				2018	100%	100%	100%	100%
合計	59	59 (100%)	52 (88%)		88%	100%	100%	100%

**措置着手率** : 措置（設計を含む）に着手した割合(B/A)

2024.3 末時点

**措置完了率** : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1 : 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2 : 2 巡目点検で再度Ⅲ、Ⅳと診断された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

### ③道路附属物等

1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 98%です。

完了した割合は、国土交通省 55%、高速道路会社 100%、地方公共団体 77%です。

表 4-4 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち 完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施 年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	22	22 (100%)	12 (55%)	2014	—	—	—	—
				2015	—	—	—	—
				2016	42%	100%	—	—
				2017	67%	100%	—	—
				2018	100%	100%	—	—
高速道路会社	7	7 (100%)	7 (100%)	2014	—	100%	100%	—
				2015	—	100%	100%	—
				2016	—	—	—	—
				2017	—	100%	100%	—
				2018	—	100%	100%	—
地方公共団体計	56	55 (98%)	43 (77%)	2014	—	100%	100%	—
				2015	—	—	—	—
				2016	—	—	—	—
				2017	—	—	—	—
				2018	67%	67%	—	—
県・政令市等	54	53 (98%)	41 (76%)	2014	—	—	—	—
				2015	89%	100%	—	—
				2016	50%	100%	—	—
				2017	50%	100%	—	—
				2018	50%	50%	—	—
市町村	2	2 (100%)	2 (100%)	2014	—	100%	100%	—
				2015	—	—	—	—
				2016	—	—	—	—
				2017	—	—	—	—
				2018	100%	100%	—	—
合計	85	84 (99%)	62 (73%)			73%	99%	

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

2024.3 末時点

措置完了率 : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1 : 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2 : 2 巡目点検で再度Ⅲ、Ⅳと診断された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

## (2) 2巡目点検（2019～2023年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況

### ①橋梁

2巡目（2019～2023年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省78%、高速道路会社78%、地方公共団体46%です。

完了した割合は、国土交通省17%、高速道路会社17%、地方公共団体18%です。

表4-5 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	94	73 (78%)	16 (17%)	2019	0%	89%	0%	89%
				2020	31%	92%	31%	92%
				2021	27%	80%	27%	80%
				2022	18%	100%	18%	100%
				2023	0%	35%	0%	35%
高速道路会社	64	50 (78%)	11 (17%)	2019	50%	100%	50%	100%
				2020	23%	100%	23%	100%
				2021	15%	92%	15%	92%
				2022	6%	88%	6%	88%
				2023	0%		0%	
地方公共団体計	1,088	497 (46%)	196 (18%)	2019	23%	45%	23%	45%
				2020	28%	63%	28%	63%
				2021	23%	54%	23%	54%
				2022	7%	30%	7%	30%
				2023	2%	21%	2%	21%
県・政令市等	510	275 (54%)	104 (20%)	2019	10%	31%	10%	31%
				2020	26%	62%	26%	62%
				2021	36%	78%	36%	78%
				2022	21%	64%	21%	64%
				2023	4%	28%	4%	28%
市町村	578	222 (38%)	92 (16%)	2019	40%	63%	40%	63%
				2020	31%	66%	31%	66%
				2021	17%	45%	17%	45%
				2022	0%	12%	0%	12%
				2023	0%	16%	0%	16%
合計	1,246	620 (50%)	223 (18%)		18%	50%	18%	50%

措置着手率 : 措置（設計を含む）に着手した割合(B/A)

2024.3末時点

措置完了率 : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1：2巡目（2019～2023年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

## ②トンネル

2巡目（2019～2023年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（判定区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（判定区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 0%、地方公共団体 94%です。

完了した割合は、国土交通省 8%、高速道路会社 0%、地方公共団体 56%です。

表4-6 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	12	12 (100%)	1 (8%)	2019	0%	100%	0%	100%
				2020	50%	100%	50%	100%
				2021	0%	100%	0%	100%
				2022	0%	100%	0%	100%
				2023	0%	100%	0%	100%
高速道路会社	1	0 (0%)	0 (0%)	2019	—	—	—	—
				2020	—	—	—	—
				2021	—	—	—	—
				2022	0%	—	0%	—
				2023	—	—	—	—
地方公共団体計	50	47 (94%)	28 (56%)	2019	87%	100%	87%	100%
				2020	35%	100%	35%	100%
				2021	62%	92%	62%	92%
				2022	25%	75%	25%	75%
				2023	0%	—	0%	—
県・政令市等	44	44 (100%)	27 (61%)	2019	93%	100%	93%	100%
				2020	35%	100%	35%	100%
				2021	67%	100%	67%	100%
				2022	0%	100%	0%	100%
				2023	—	—	—	—
市町村	6	3 (50%)	1 (17%)	2019	0%	100%	0%	100%
				2020	—	—	—	—
				2021	0%	—	0%	—
				2022	33%	67%	33%	67%
				2023	0%	—	0%	—
合計	63	59 (94%)	29 (46%)		46%	94%	46%	94%

**措置着手率** : 措置（設計を含む）に着手した割合(B/A)

2024.3末時点

**措置完了率** : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1：2巡目（2019～2023年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

### ③道路附属物等

2巡目（2019～2023年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省 53%、高速道路会社 50%、地方公共団体 73%です。

完了した割合は、国土交通省 16%、高速道路会社 50%、地方公共団体 34%です。

表4-7 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	51	27 (53%)	8 (16%)	2019	11%	100%	6%	18%
				2020	31%	81%	17%	33%
				2021	17%	33%	0%	0%
				2022	0%	0%	0%	0%
				2023	0%	0%	0%	0%
高速道路会社	6	3 (50%)	3 (50%)	2019	100%	100%	100%	100%
				2020	100%	100%	100%	100%
				2021	—	—	—	—
				2022	100%	100%	100%	100%
				2023	0%	0%	0%	0%
地方公共団体計	44	32 (73%)	15 (34%)	2019	50%	100%	56%	89%
				2020	33%	100%	33%	100%
				2021	0%	40%	0%	40%
				2022	0%	40%	0%	40%
				2023	0%	0%	0%	0%
県・政令市等	42	31 (74%)	15 (36%)	2019	50%	100%	63%	94%
				2020	33%	100%	33%	100%
				2021	0%	40%	0%	40%
				2022	0%	40%	0%	40%
				2023	0%	0%	0%	0%
市町村	2	1 (50%)	0 (0%)	2019	—	—	0%	50%
				2020	0%	50%	0%	50%
				2021	—	—	—	—
				2022	—	—	—	—
				2023	—	—	—	—
合計	101	62 (61%)	26 (26%)		26%	61%		

**措置着手率** : 措置（設計を含む）に着手した割合(B/A)

2024.3 末時点

**措置完了率** : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1：2巡目（2019～2023年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

### (3) 過年度の点検（2014～2023年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況

#### ①橋梁

過年度の点検（2014～2023年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省 78%、高速道路会社 78%、地方公共団体 46%です。

完了した割合は、国土交通省 17%、高速道路会社 17%、地方公共団体 18%です。

表 4－8 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 D (D/A)
		B (B/A)	うち完了 C (C/A)	
国土交通省	94	73 (78%)	16 (17%)	21 (22%)
高速道路会社	64	50 (78%)	11 (17%)	14 (22%)
地方公共団体計	1,088	497 (46%)	196 (18%)	591 (54%)
県・政令市等	510	275 (54%)	104 (20%)	235 (46%)
市町村	578	222 (38%)	92 (16%)	356 (62%)
合計	1,246	620 (50%)	223 (18%)	626 (50%)

2024.3 末時点

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※1：2023年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

## ②トンネル

過年度の点検（2014～2023年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 0%、地方公共団体 94%です。

完了した割合は、国土交通省 8%、高速道路会社 0%、地方公共団体 57%です。

表 4-9 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 D (D/A)
		B (B/A)	うち完了 C (C/A)	
国土交通省	12	12 (100%)	1 (8%)	0 (0%)
高速道路会社	1	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)
地方公共団体計	51	48 (94%)	29 (57%)	3 (6%)
県・政令市等	44	44 (100%)	27 (61%)	0 (0%)
市町村	7	4 (57%)	2 (29%)	3 (43%)
合計	64	60 (94%)	30 (47%)	4 (6%)

2024.3 末時点

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※1：2023年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

### ③道路附属物等

過年度の点検（2014～2023年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省 53%、高速道路会社 50%、地方公共団体 73%です。

完了した割合は、国土交通省 16%、高速道路会社 50%、地方公共団体 34%です。

表 4 - 1 0 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 D (D/A)
		B (B/A)	うち完了 C (C/A)	
国土交通省	51	27 (53%)	8 (16%)	24 (47%)
高速道路会社	6	3 (50%)	3 (50%)	3 (50%)
地方公共団体計	44	32 (73%)	15 (34%)	12 (27%)
県・政令市等	42	31 (74%)	15 (36%)	11 (26%)
市町村	2	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)
合計	101	62 (61%)	18 (19%)	39 (39%)

2024.3 末時点

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※1：2023年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

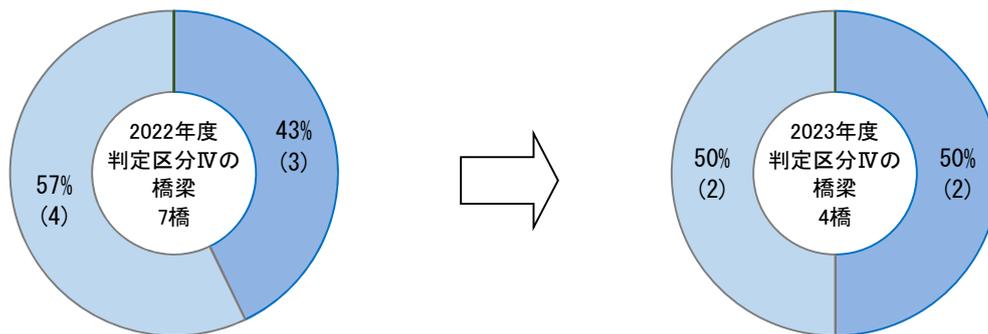
#### (4) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

2023 年度末時点で判定区分Ⅳと診断された橋梁は、2022 年度末時点の 7 橋から 4 橋に減少し、内 2 橋は修繕・架替、2 橋は撤去・廃止中となっています。

またトンネル及び道路附属物等が、2023 年度末時点で判定区分Ⅳと診断された施設はありません。

#### ○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況(予定含む)

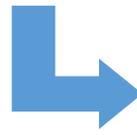
■ 修繕・架替 ■ 機能転換 ■ 対応未定 ■ 撤去・廃止中(予定含む) ■ 撤去・廃止済等



## (5) 修繕等措置の取り組み事例

### ① 判定区分Ⅲの修繕事例（橋梁）

施設名：伊豆野堰橋側道橋（下）  
 管理者：国土交通省 仙台河川国道事務所  
 路線名：国道4号  
 位置：宮城県栗原市  
 建設年：1974年（昭和49年）  
 主な損傷：主桁・床版の腐食、変形・欠損  
 排水管の腐食、破断



【全景】伊豆野堰橋側道橋（下）



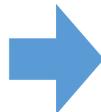
【損傷】主桁端部の腐食状況

【対策】上部工架替え

施設名：追分橋  
 管理者：宮城県  
 路線名：国道108号  
 位置：宮城県大崎市  
 建設年：1964年（昭和39年）  
 主な損傷：主桁の腐食・欠損、支承の腐食  
 下部工ひび割れ・うき



【全景】追分橋



【損傷】主桁、支承の腐食

【対策】当て板補修、支承交換

施設名：<sup>かまめかばし</sup>釜糠橋  
 管理者：栗原市  
 路線名：市道川畑横名線  
 位置：宮城県栗原市  
 建設年：1964年（昭和39年）  
 主な損傷：支承の腐食



【全景】釜糠橋



【損傷】支承の腐食



【対策】支承塗替塗装

施設名：<sup>やたてばし</sup>矢楯橋  
 管理者：大崎市  
 路線名：市道矢楯線  
 位置：宮城県大崎市  
 建設年：1958年（昭和33年）  
 主な損傷：床版の剥離・鉄筋露出、下部構造の変形・欠損、吊材の腐食



【全景】矢楯橋



【損傷】吊材の腐食



【対策】吊材塗装塗替

施設名：ごみくらばし五味倉橋  
 管理者：東松島市  
 路線名：市道小松・赤井線  
 位置：宮城県東松島市  
 建設年：1973年（昭和48年）  
 主な損傷：腐食、破断、防食機能の劣化



【全景】五味倉橋



【損傷】床版の腐食



【対策】FRPシート設置

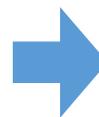
施設名：まついわほどうきょう松岩歩道橋  
 管理者：気仙沼市  
 路線名：市道五駄鱈2号線  
 位置：宮城県気仙沼市  
 建設年：1973年（昭和48年）  
 主な損傷：主桁、床版及び支承の腐食



【全景】松岩歩道橋



【損傷】主桁の腐食



【対策】塗装塗替

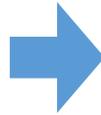
施設名：<sup>にし</sup>西-7ボックスカルバート  
 管理者：国土交通省  
 仙台河川国道事務所  
 路線名：国道48号  
 位置：宮城県仙台市  
 建設年：1989年（平成元年）  
 主な損傷：頂版部の剥離、鉄筋露出



【全景】西-7ボックスカルバート



【損傷】頂版部の剥離、鉄筋露出



【対策】断面修復工

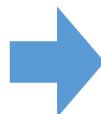
施設名：<sup>まひきさわ</sup>馬引沢ボックス  
 管理者：仙台市  
 路線名：県道仙台山寺線  
 位置：宮城県仙台市  
 建設年：1967年（昭和42年）  
 主な損傷：頂版、側壁部のひびわれ、剥離、鉄筋露出



【全景】馬引沢ボックス



【損傷】頂版の剥離、鉄筋露出



【対策】断面修復

## ②判定区分Ⅳの修繕事例（橋梁）

施設名：<sup>おい</sup>追の<sup>さわばし</sup>沢橋  
 管理者：川崎町・仙台市（管理協定）  
 路線名：町道基石・秋保線  
 位置：宮城県川崎町・仙台市  
 建設年：1981年（昭和56年）  
 主な損傷：主桁の腐食、変形・欠損



【全景】追の沢橋



【損傷】主桁の腐食



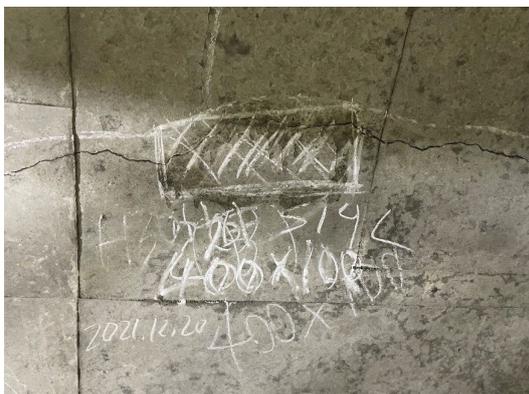
【対策】上部工架替え

## ③判定区分Ⅲの修繕事例（トンネル）

施設名：<sup>ししおり</sup>鹿折トンネル  
 管理者：国土交通省 仙台河川国道事務所  
 路線名：国道45号  
 位置：宮城県気仙沼市  
 建設年：1983年（昭和58年）  
 主な損傷：覆工のうき、剥離



【全景】鹿折トンネル



【損傷】トンネル覆工のうき・剥離

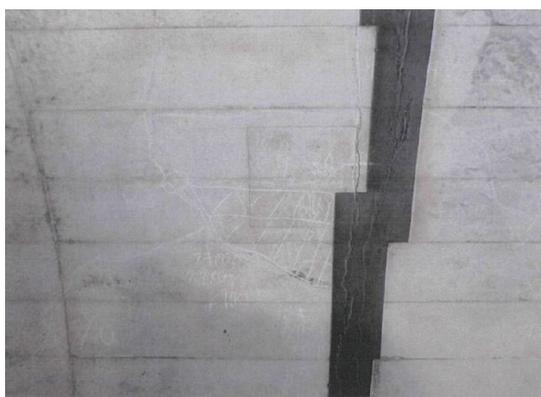


【対策】FRPメッシュ貼り付け

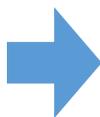
施設名：宮床トンネル  
 管理者：宮城県  
 路線名：国道 457 号  
 位置：宮城県大和町  
 建設年：1992 年（平成 4 年）  
 主な損傷：材質劣化（覆工部のひび割れ）



【全景】宮床トンネル



【損傷】ひび割れ



【対策】FRP メッシュ工法

④判定区分Ⅲの修繕事例（横断歩道橋）

施設名：利府第一歩道橋  
 管理者：宮城県  
 路線名：主要地方道仙台松島線  
 位置：宮城県利府町  
 建設年：1973 年（昭和 48 年）  
 主な損傷：床版の腐食、階段部の腐食・欠損



【全景】利府第一歩道橋



【損傷】床版の腐食



【対策】当て板補修・塗替え塗装

施設名：西多賀歩道橋  
管理者：仙台市  
路線名：国道286号  
位置：宮城県仙台市  
建設年：1976年（昭和51年）  
主な損傷：上部構造、下部構造および階段部に腐食



【全景】西多賀歩道橋



【損傷】

上部構造 腐食、防食機能の劣化



【対策】再塗装

## 5 道路メンテナンス会議の取り組み

宮城県道路メンテナンス会議は、インフラの老朽化対策が社会的な課題となり、橋梁・トンネル等の定期的な点検がスタートした2014年度に、技術力の向上、インフラの長寿命化の推進、さらには道路インフラの維持管理についての情報共有や課題解決への連携と効率的な道路管理を行っていくことを目的に、県内の道路管理者が一体的な連携を図るための組織として設置されました。

特に市町村では、道路構造物の維持管理について技術的なノウハウや土木技術系職員の不足といった課題がある中で、道路インフラを適正に維持管理していくことが重要であるため、宮城県道路メンテナンス会議では、市町村の技術的支援に重点をおいた活動等を展開しています。



橋梁点検研修



点検支援技術講習会



広報活動  
(ハイウェイフェスタとうほく 2024)



パネル展の実施  
(青葉通り地下道ギャラリー)

## 宮城県道路メンテナンス会議（構成機関）

宮城県土木部道路課	利府町都市開発部施設管理課
仙台市建設局道路部道路保全課	大郷町地域整備課
白石市建設部建設課	大崎市建設部建設課
角田市産業建設部都市整備課	加美町建設課
蔵王町建設課	色麻町建設水道課
七ヶ宿町農林建設課	涌谷町建設課
大河原町地域整備課	美里町建設課
村田町建設水道課	栗原市建設部建設課
柴田町都市建設課	登米市建設部道路課
川崎町建設水道課	石巻市建設部道路課
丸森町建設課	東松島市建設部建設課
名取市建設部土木課	女川町建設課
岩沼市建設部土木課	気仙沼市建設部土木課
亘理町都市建設課	南三陸町建設課
山元町建設課	東日本高速道路(株)東北支社
大和町都市建設課	宮城県道路公社建設部道路管理課
富谷市建設部都市整備課	東北地方整備局道路部
大衡村都市建設課	東北地方整備局仙台河川国道事務所
塩竈市産業建設部土木課	東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所
多賀城市都市産業部都市整備課	東北地方整備局東北技術事務所
松島町建設課	東北地方整備局東北道路メンテナンスセンター
七ヶ浜町建設課	公益社団法人宮城県建設センター（オブザーバー）

会 長 東北地方整備局仙台河川国道事務所長  
副 会 長 宮城県土木部道路課長  
事 務 局 宮城県土木部道路課  
東北地方整備局道路部  
東北地方整備局仙台河川国道事務所  
東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所  
東北地方整備局東北技術事務所  
東北地方整備局東北道路メンテナンスセンター

問い合わせ窓口(事務局)

○宮城県土木部道路課  
電話022-211-3155  
○東北地方整備局仙台河川国道事務所道路管理第二課  
電話022-304-1811